

地球環境保全への積極的な取り組みは、企業が果たすべき重要な社会的責任です。
エヌ・イー ケムキャットは、事業活動のすべてのプロセスにおいて環境への影響に配慮しています。

環境マネジメント

当社は、「企業の社会的責任を果たし、私たちを取り巻く環境や社会との共生を図る」ことを経営理念として定めています。これをさらに推進するため環境方針を策定し、積極的に環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針

1. レスポンシブル・ケア基本方針の下、地球環境の保全を当社の重要な使命のひとつと位置付け、全員の創意工夫により、事業活動に伴う環境負荷の削減に努めるとともに環境浄化を目指した事業を積極的に推進する。
2. 重要課題である地球環境保全の取り組みの一つとして、設計、製造、納入する全ての装置、部品、製品に含有する化学物質管理を、技術的、経済的な側面を考慮して推進する。

環境マネジメント推進体制

各事業所に環境保全委員会を設置し、レスポンシブル・ケア(RC)項目のうち「環境保全」「化学物質管理」「エネルギー」に関する取り組みを推進しています。
その進捗は、生産本部長を議長とする全社のRC委員会に報告され、監督されています。(RCおよび推進体制図はp.24参照)

環境マネジメントシステム

当社は、環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、継続的なマネジメントシステムの改善を行っています。また、環境マニュアルを定め、日々の業務において環境活動を行っています。

環境マネジメントシステムの認証取得事業場

ISO14001:2015 沼津事業所、つくば事業所

環境教育

当社では、社員に環境マニュアルの浸透を図るとともに、環境意識の向上や各種環境関連法令を遵守するための教育・訓練を実施しています。

2022年度の環境教育・訓練プログラム

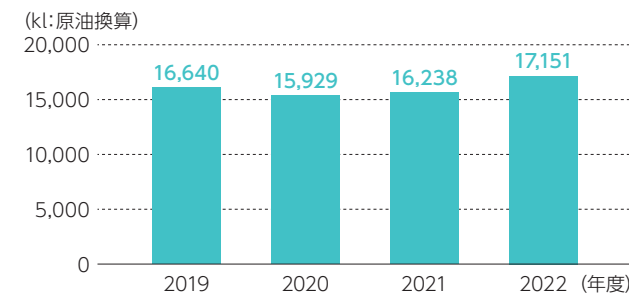
教育訓練名	頻度
内部監査員講習	年1回
環境パトロール	年4回
環境月間(社長メッセージ)	年1回
緊急用備品教育	年1回
高圧ガス(LNG)漏洩訓練	年1回
薬品漏洩・緊急遮断弁訓練	年1回
塩素ガス漏洩訓練	年1回

環境負荷低減への取り組み

省エネルギーの推進

当社は、エネルギー管理委員会において、省エネルギーに関する新技術導入をはじめ、全社のエネルギー計画の推進を行っています。
また、事業活動全般における環境負荷物質の低減や環境事故・労災防止の徹底をビジョン2030実現のための16のキードライバーの一つとして位置付けて、取り組んでいます。
2022年度は操業増加により、エネルギー利用量は増加しましたが、CO₂排出量の削減に向けた施策として、事業所ごとに省エネルギー目標を設定し、開発や生産工程の改善やエネルギー効率の高い設備の導入など、省エネルギー対策を実施しています。

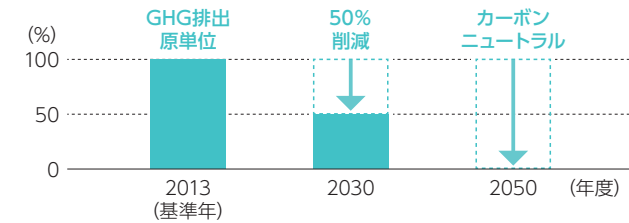
エネルギー利用量の推移



GHG排出原単位の削減

当社は、2030年に2013年対比でGHG(温室効果ガス)排出原単位50%とすることを目標に掲げ、地球温暖化の原因とされているGHG排出量の削減に向けた取り組みを進めています。

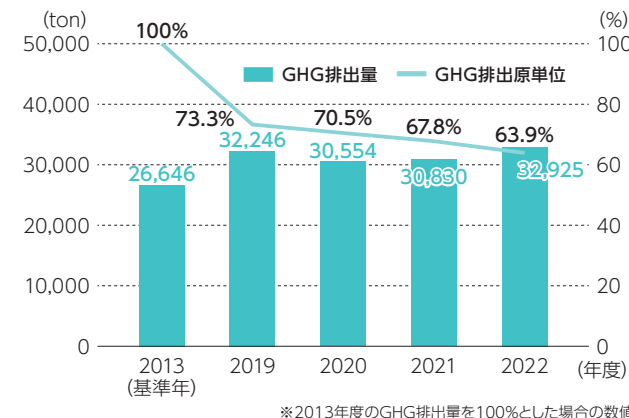
GHG排出原単位の削減目標



【目標達成に向けた取り組み】

- ・ 使用する電力やLNGの省エネルギー・ロス削減対策(LED照明の導入、効率の良い空調機器の導入)
- ・ エネルギー効率の高い設備・技術の導入
- ・ 開発・生産効率の改善
- ・ 再生可能エネルギーの導入拡大

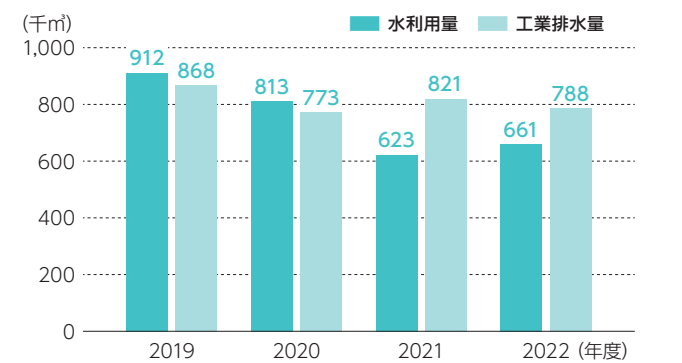
GHG排出量およびGHG排出原単位*の推移



水資源の有効利用

当社は、独自の水設備を導入しており、リサイクル水を活用し、水使用量の最小化に努めています。

水利用量および工業排水量の推移



資源の有効活用

貴金属のリサイクル

使用済みの触媒に含まれる貴金属(Pt, Pd, Rh, Ru等)は重要な資源です。当社では、自社に回収精製の施設を有し、廃貴金属触媒に複数の貴金属種、添加元素、あるいは使用中に付着した被毒元素などが含まれる場合でも、適切な分離回収技術により高品質な貴金属を回収し、精製することが可能です。
各金属については、以下のとおり純度99.9%以上の精度で回収を行っています。



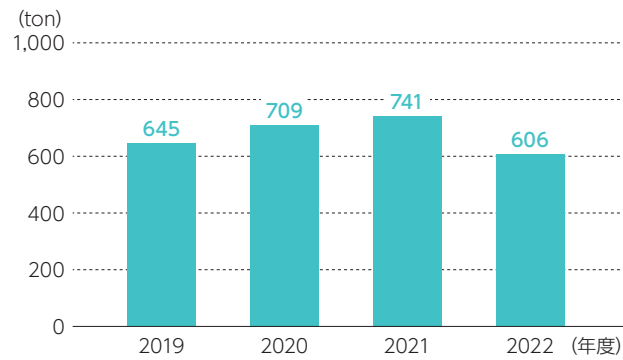
※ルテニウムは塩化ルテニウムとして回収しています。

貴金属回収をより効率的に行えるよう、新たな吸着剤の開発など回収技術のさらなる向上に努めています。

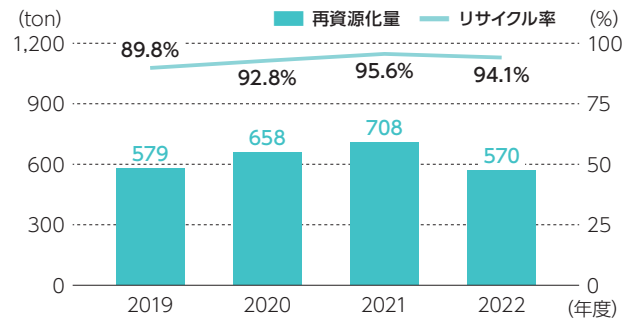
■ 廃棄物の削減

当社の廃棄物のなかで最も多くを占める排水中の汚泥の削減に向けて、生産工程の見直しや装置・機械の入れ替えなどに取り組んでいます。

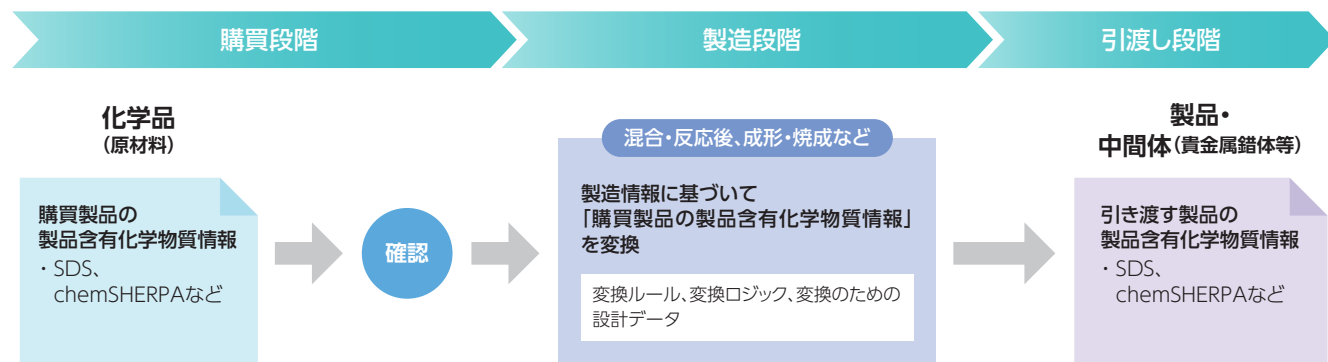
産業廃棄物排出量の推移



産業廃棄物の再資源化量およびリサイクル率の推移



サプライチェーンと製品含有化学物質の管理



■ 化学物質の管理

当社は、社内で扱う化学物質に加え、設計、製造から納入に至るプロセスで使用するすべての原材料および製品に含有される化学物質の管理体制を構築しています。

■ 化学物質関連法令の遵守

当社では、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)」[「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)」[「労働安全衛生法」などの関係法令を踏まえ、「化学物質管理規定」において管理手順を定め、化学物質の適正な管理をしています。

■ 製品含有化学物質の管理

製品に含有される化学物質については、設計・開発段階で、原材料の購買、製造、製品の引渡しの各段階における製品含有化学物質に関する管理基準を明確にし、サプライチェーン全体で適切な管理に取り組んでいます。

サプライチェーン全体で製品含有化学物質の管理を行うには、化学品から変換される「製品・中間体」の含有化学物質を適切に管理することが鍵となります。

当社では、「製品・中間体」に用いる化学品中の化学物質だけでなく、製造工程における化学物質の量や変化、さらに混入汚染防止などの管理もしています。

また、2022年12月に公開された日本自動車工業会(自工会)の「製品含有化学物質管理ガイドライン」を踏まえた取り組みを開始しています。

エヌ・イー ケムキャットは、レスポンスブル・ケア(RC)活動を「ビジョン2030」を達成するための16のキードライバーの一つとして位置付け、積極的に推進しています。

RC活動

RC活動は、世界約70カ国の化学工業協会で開催されています。化学製品の開発、製造、物流、使用から最終消費、また廃棄に至るまでのライフサイクルにおいて、「環境・安全・健康」を確保することを約束し、環境安全対策について実行・改善を図る、化学工業界の自主的な取り組みです。その成果を公表し対話をする事で、社会からの信頼を深めることを目的として、日本化学工業協会(JCIA)内に設立されたレスポンスブル・ケア委員会に、当社は2020年度より参加しています。



レスポンスブル・ケア基本方針

当社は、環境・安全・健康を最重要事項と認識し、自主的・継続的なレスポンスブル・ケア活動として以下のことに取り組む。

1. 製品の開発から廃棄に至るまでの全ライフサイクルにわたって、環境負荷の低減と環境保全を図る。
2. 「安全は全てに優先する」を基本に、無事故・無災害を目指し、全ての事業従事者および地域社会の安全確保を図る。
3. 原料、中間品、製品などにおいて取り扱う化学物質の安全性を確認し、従業員、物流関係者、顧客など関係する人々の健康に配慮する。

以上の活動の成果を社会に開示し、ステークホルダーとの適切なコミュニケーションを図る。

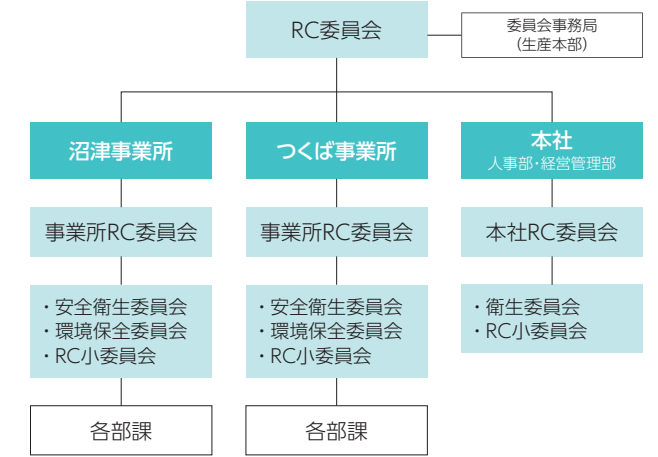
■ RC推進体制

当社では、RC活動および安全環境活動を推進するためにRC委員会を設置しています。

同委員会では、基本方針の重点事項に基づき、各事業所の環境管理および安全衛生に関する目標達成に向けて、実行計画の遂行についてのマネジメントを行っています。

2022年度は、前年に策定したレスポンスブル・ケアマニュアルに基づき活動を行いました。2023年度はJCIAによるRC検証をつくば事業所にて実施予定です。

RC推進体制図



■ RCマネジメントシステム

当社は、レスポンスブル・ケアマネジメントシステム(RCMS)を活用して、RC活動を展開しています。RCMSは、ISO14001、OSHMS(ISO45001)の要求事項を満たしており、コードごとに管理内容が明確にされています。

RC活動の基本(6つの柱)

Code 0 マネジメントシステム		
Code 1 環境保全	Code 2 保安防災	Code 3 労働安全衛生
Code 4 物流安全	Code 5 化学品・製品安全	Code 6 社会との対話

■ RC監査体制

RCMSに基づき、年1回、各事業所においてRC監査を実施しています。